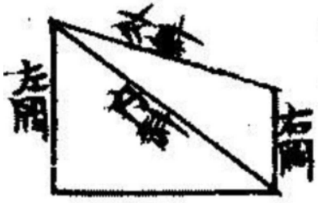
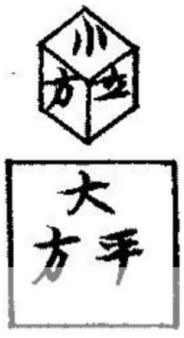
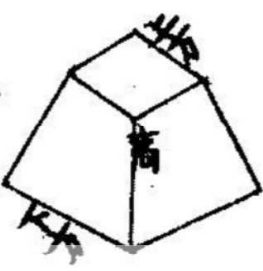
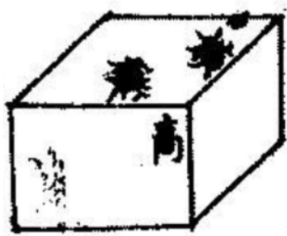


論文「大成算経の病題について（2）一変題第六一」（著者：藤井康生）

問題番号	問題図形	問題文
第18-27		<p>等脚台形を上底と下底の中点を結ぶ線で半分にしたものがある。斜辺（外斜）は1尺6寸、対角線（内斜）は1尺9寸である。只云う右闊と左闊の和を1尺8寸とする。</p> <p>右闊を問う。</p>
第18-28		<p>羅と綾が併せて15尺有る。羅の価格は36銭、綾の値段は6銭である。只云う羅と綾1尺の和は5銭とする。</p> <p>羅と綾の各1尺の価格を問う。</p>
第18-29		<p>大きい正方形（平方）と小さい立方体（立方）が各1個がある。面積と体積を併せると449寸である。只云う大きい正方形と小さい立方体の一辺の和を2尺3寸とする。</p> <p>大きい正方形と小さい立方体の一辺の長さを問う。</p>
第18-30		<p>四角錐台がある。その体積と高さの自乗の3倍を併せて544寸6分9厘8である。只云う上の面の一辺と高さの和は1尺4寸3分、又云う底面の一辺と高さの和は1尺4寸9分とする。</p> <p>高さを問う。</p>
第18-31		<p>直方体がある。体積は24寸である。只云う横と高さを掛けた数に縦を併せて10寸、又云う横と高さの和を5寸とする。</p> <p>高さを問う。</p>

（図形は、「東北大学総合知デジタルアーカイブ」から）